

## 市民交流スペースの

## 活用アイデアを

## みんなで話し合いました。



きらめき創造館 Topicにて新庁舎アイデアワークショップを開催しました。応募していただいた市民の皆さんと一緒に、新庁舎につくる予定の市民交流スペースについて、活用アイデアを出し合い、それを踏まえた空間イメージや、必要な条件などを考えました。



まず参加者には「ハレ」と「ケ」を意識し、市民交流スペースでやってみたいこと、やれたらいいことを考えていただきました。「ハレ」と言うのは、晴れの日の「晴れ（ハレ）」と同じく、特別なという意味です。一方の「ケ」は日常、普段使いなどを指します。週末や祝日にイベントを開催するなどの特別な使い方と、平日の普段使いのあり方を、それぞれ探ることで、市民の皆さんに使い倒していただけるようなアイデアをみんなで話し合いました。



富田林市  
新庁舎建設  
プロジェクト

### 【実施概要】

とき：2021年9月26日（日）  
13:30～15:30  
ところ：きらめき創造館 Topic  
参加者：8名

### 【意見収集方法】

イベント時と平常時でそれぞれ市民交流スペースの使い方のアイデア出しを行い、それらのアイデアを実現するために必要な場所について議論しました。

## 「ハレ」のアイデア

- ・アートイベント
- ・ステージ発表（インターネットを利用したライブ配信も行う）
- ・芸能発表
- ・地場産マルシェ
- ・市民大学
- ・地域食堂 など

## 「ケ」のアイデア

- ・市の取り組みを紹介する展示
- ・市民活動の展示・発表
- ・会議やワークショップができる
- ・子どもが遊べるスペース
- ・富田林らしさを感じられるくつろぎ空間
- ・本屋やコンビニなど民間資本を活用したスペース
- ・フードコートや食堂 など



### 「2チームに分かれて、アイデアを出し合いました」

続いて、皆さんからのアイデアを実現していくために、市民交流スペースがどのような場所であればよいかについて議論しました。その中では富田林らしさを感じられるように地場の材料を使用する、まちの情報発信ができるようなスペースがある、完成してからも市民が変えたり付け足したりできるフレキシブルさや自由さがあるなどの意見が出てきました。また、今は市役所にこのような場所はないけれど、場所が用意されれば、市内に利用者はたくさんいるという声もいただきました。場所の使い方だけでなく、市内の活動団体の連携をコーディネートする仕組みの必要性や、オンライン作業ができるような環境整備を求める声もありました。

ワークショップ後半は、新庁舎建設プロジェクトについてフリーディスカッションを行いました。障がい者や高齢者、ネット弱者をどう助けていけるか、

歴史や文化を大切にしたい、文書や資料の保護を進めてほしい、といった意見が寄せられました。また分庁舎化については、もっと情報公開をしながらか進めてほしい、文化を大切にするためにもすばるホールへの移転はやめてほしいなど計画の見直しを求めるものから、これをきっかけにするホールを文化活動の拠点として有効活用してはどうか、分庁舎化が仕方ないのであれば、インターネット等を活用してうまく補完してほしいというものがありました。貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今後も新庁舎建設に向けた情報発信や、市民の皆さんからの意見をお聞きする場を設けていきます。よりよい新庁舎に向けたご協力をよろしく願います。



富田林市  
新庁舎建設  
プロジェクト

富田林市本庁舎は、耐震性能の不足や設備の老朽化等、様々な問題を抱えています。平成28年4月に発生した熊本地震では庁舎が被災し、行政機能に支障をきたす事態になったことから、本市では平成29年度に行いました市庁舎耐震化構想業務において市庁舎耐震調査を実施し、これをまとめた「富田林市庁舎耐震調査業務調査報告書」で庁舎北館の耐震性能が確保されていないことを再確認しました。

これらの課題の改善策を検討するため、平成30年度に「富田林市庁舎耐震化庁内検討会議」を設置し、「富田林市庁舎耐震化庁内検討会議報告書」をまとめました。さらに、令和2年度には耐震化を含めた新庁舎建設の基本計画となる「富田林市庁舎整備基本計画」を策定し、現在は新庁舎の設計に取り組んでおります。